

ネットワーク カメラ

インストールマニュアル



DC-S6281FX
DC-S6281HX

はじめに


本説明書では、IDIS Co., Ltd.の製品であるネットワークカメラの設置および運用のための基本的な説明を記述しています。本装置を初めてご使用になるユーザーや、既にご使用中の方でも、必ずご使用になる前に本説明書をお読みになり注意事項をご確認の上、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負わないのでご注意ください。
- ネットワークカメラを初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置前や使用中に限らず、必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門技術者のサポートを受けて下さい。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門家のサポートを受けてください。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者またはユーザーはこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。

安全上の注意事項の表示

アイコン	表記	意味
	警告	この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。
	注意	この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
<input checked="" type="checkbox"/>	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

© 2023 IDIS Co., Ltd.

本説明書の著作権はIDIS Co., Ltd.にあります。

IDIS Co., Ltd.の許可を事前に得ず、説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

IDISはIDIS Co., Ltd.の登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開サポート可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供を受けることができます。詳細内容は**システム - 一般**の項目でご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含んでおります。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含んでおります。

本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

ご使用になる前に

安全および製品の故障を防ぐため、本装置をご使用になる前に下記の内容を必ず熟読してください。製品を正しく使うことでユーザーの安全を保護し、財産上の損害などを防止するための内容であるため、必ずお読みになった上正しくお使い下さい。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでください。
- 振動や衝撃がある所に設置しないでください。
故障の原因となります。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでください。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭いてください。
- 水または湿気などの防水対策が施されていない場所には置かないでください。
- 電源コード部を引っ張って抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。
破損した電源コードを使うと、火災および感電につながる恐れがあります。
- 予想できない停電による製品の破損を防止するため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)の併用をお勧めします。関連内容は、UPS代理店でお問い合わせください。
- 本装置内部は感電する恐れがあるため、カバーを開けないでください。
- 電池は必ず同一規格のものを使用してください。同一規格以外のものを使用すると、爆発の恐れがあります。
- 壁や天井などに設置する際は、しっかりと固定し、適正温度を保持してください。空気が循環しない密閉された空間に設置すると、火災の原因となります。
- 故障および感電の恐れがある温度変化が激しい所や湿気が多い所を避け、接地されていない電源コード及び電源拡張ケーブル、被覆がむけた電源コードを使わないで下さい。
- 雷の発生が多い地域は雷保護装置の併用をおすすめします。
- 本装置から異臭がしたり煙が出たら、直ちに電源を切って購入先まで連絡してください。

目次

1

第1章 – 製品紹介	6
製品の特徴	6
付属品の確認	7
名称及び機能	8
室内用および屋外用	8
埋込型	11
ケーブル	11
ファクトリーリセット	13
設置	13
室内用	13
屋外用	14
埋込型	15
寸法	16

2

第2章 – カメラ接続	18
DirectIP® NVRご利用の際	18
一般遠隔監視/録画	19


3

第3章 – 付録	20
故障と思われる際の確認事項(Q&A)	20
製品の仕様	21

第1章 – 製品紹介


製品の特徴


DC-S6281FX / DC-S6281HXはイーサネット (Ethernet)を通じて映像を圧縮転送するIP方式のネットワークカメラです。“IDIS Discovery”(統合ネットワークインストールツール)プログラムを使うことで、ネットワークカメラの設定を変更したり、複数のネットワークカメラを統合管理することができます。また、装置内にウェブサーバ(IDIS Web)が搭載されているため、ウェブブラウザでリアルタイム映像を遠隔からリアルタイムで監視したり、録画された映像を検索できます。なお、製品の購入時に供給される遠隔プログラムプログラムで、ネットワークカメラの遠隔管理、監視、検索および録画ができます。

 本説明書で記述する**遠隔地システム**とは、遠隔録画・遠隔監視(IDIS Solution Suite Compact、IDISウェブ)プログラム実行中のPCを称します。

- PCがなくても環境設定を簡単に行えるように、DirectIP®NVRとともにDirectIPモードにも対応しています
- ONVIFプロトコル対応(Profile S、Tに対応)
- 高解像度、高画質映像のリアルタイム監視および録画に同時対応するマルチストリーミング対応
- H.265、H.264動画圧縮、M-JPEG圧縮アルゴリズムに同時対応
- 4段階映像圧縮率および多様な解像度対応
- 双方向オーディオ通信に対応し、遠隔コミュニケーションが可能
- イベント前後のバッファリングおよびネットワーク遅延に備えた映像ストリームバッファリングの提供によりネットワーク録画の信頼性向上
- ウェブブラウザ、または遠隔ソフトウェアを通しての遠隔監視対応
- ユーザーのウェブサイトへのウェブキャストのためのHTMLコードを自動生成
- 遠隔接続は、最大10人の同時接続対応
- セキュリティーのためのIPフィルタリング、HTTPS、SSL、IEEE 802.1X機能およびユーザー権限設定可能

- ネットワークバンド幅の有効な使用のためのネットワークバンド幅制限およびMAT機能対応
- UPnP (Universal Plug and Play)機能および内蔵mDNS (Multicast DNS)プロトコルを利用したネットワーク接続
- スローシャッター対応により最低被写体照度の性能改善
- 内蔵IRカットフィルターチェンジャーによる昼間/夜間モード対応
- ネットワークを経由したファームウェアのアップグレードが可能
- システム安定化のためのファームウェア二重化および自動復旧機能
- ネットワーク上で本機を含む複数のネットワークカメラの統合管理が可能
- 様々なイベント感知機能: アラーム・イン、モーション感知、トリップゾーン、オーディオ検出、タンパーリング機能
- マイクロSDメモリー録画機能を持ちネットワーク切断による映像欠落時の補完に対応
- AC 24VおよびPoE (Power over Ethernet)電源対応
- マイクロステッピングモータを利用したパン/チルトコントロール
- 内蔵ヒーター対応により氷点下の気温でも動作可能 (*DC-S6281HXモデル*)
- 防水および防塵のためのIP67等級 (*DC-S6281HXモデル*)

 マルチストリーミングを用いた遠隔監視及び録画機能は製品と一緒に提供されるIDIS Solution Suite Compactプログラムで支援します。IDIS Solution Suite Compactに関する詳しい内容は各プログラムの**説明書**をご参考下さい

 インターネット (Network)による遠隔接続の際には、同時に接続できる回線には制限があります。

付属品の確認

製品を購入したら、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。モデルによって付属品の外観や色は異なることがあります。

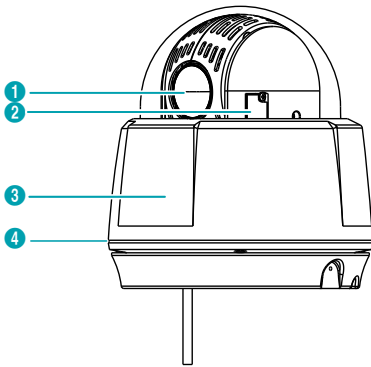
		
室内用	屋外用	DC-S6281FX
DC-S6281HX		
ネットワークカメラ本体		
		
室内用ブラケット, ネジ DC-S6281HXモデル		固定ネジ, アンカー (各4本) DC-S6281HXモデル
		
接地クリップ (フレーム接地用), ネジ DC-S6281HXモデル		フェライトコア
		
クイックガイド		ガイドパターン DC-S6281FXモデル

名称及び機能

- ☑ 製品の色やデザインはモデルによって異なることがあります。

室内用および屋外用

本体



①	レンズ
②	マイクロSDメモリーカードスロット
③	ドームカバー
④	防水シーリング(黒色ゴム)

● レンズ

電動ズームレンズが装着されています。

● マイクロSDメモリーカードスロット

マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたはTranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)またはMLC (Multi Level Cell)タイプの製品推奨)を挿入します。SDメモリーカードを取外し、または挿入するには、ドームカバーを外します。ドームカバーを外した後、再度取り付ける際に防水シーリングが所定の元の位置に装着されていないと、IP67等級が保障されません。



- SDメモリーカードの挿入や取外しや、ファクトリーリセットを行うために、ドームカバーを外した後、再度取り付ける場合、防水シーリングのネジ穴を正確に合わせ、ネジをしっかり締めて使用してください。防水シーリングが所定の元の位置に装着されていない場合、IP67が保障されることがあります。詳しい内容は製品の購入先にお問い合わせください。
- カメラ動作中にはSDメモリーカードを取り除かないでください。カメラ動作中にSDメモリーカードを取り除くとカメラが正しく動作しなかったり、SDメモリーカードに保存された録画データが損傷することがあります。
- SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷し、録画できなかつたりデータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

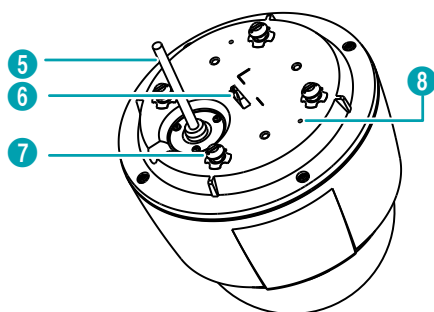
● ドームカバー

カメラ内部を保護します。

● 防水シーリング

本製品を防水します。

本体 - 下段部分



5	ケーブル
6	安全ワイヤーホルダー
7	設置ネジ
8	M3ネジ穴

● ケーブル

ケーブルを参照してください。

● 安全ワイヤーホルダー

本体をブラケットに、またはブラケットを本体に固定します。安全ワイヤーは本体とブラケットを分離する時、本体の落下を防止します。室内用ブラケットの安全ワイヤーを接続する設置ネジの隣にアース点表示(ㄐ)があります。室内用ブラケット固定の際、カメラと別売のアースケーブルを利用してカメラに接続します。安定的な動作のため、アースケーブルのご利用を推奨します。

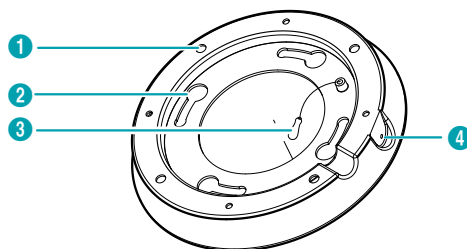
● 設置ネジ

製品を室内に設置する場合、本体を室内用ブラケットに固定します。

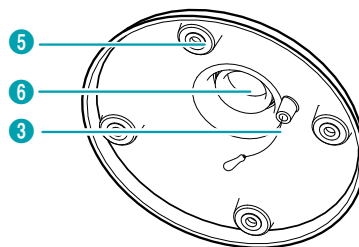
● M3ネジ穴

別売のM3ネジを利用して、サンシールドをカメラの本体に固定します。カメラ本体のM3ネジ穴の隣にアース点表示(ㄐ)があります。サンシールド固定の際、カメラと別売のアースケーブルを利用してカメラに接続します。安定的な動作のため、アースケーブルのご利用を推奨します。

室内用ブラケット



屋外用ブラケット



屋外用ブラケットおよびサンシールドは、別売になります。購入をご希望であれば、カメラの販売先でお問い合わせください。

①	壁/天井設置穴
②	設置ネジ穴
③	安全ワイヤー
④	M4ネジ穴
⑤	M5ネジ穴
⑥	パイプ穴

● **壁/天井設置穴**

カメラを壁または天井に設置するためのネジを締結します。

● **設置ネジ穴**

製品を室内に設置する場合、本体を室内用ブラケットに固定します。

● **安全ワイヤー**

本体をブラケットに、またはブラケットを本体に固定します。安全ワイヤーは本体とブラケットを分離する時、本体の落下を防止します。室内用ブラケットの安全ワイヤーを接続する設置ネジの隣にアース点表示(♂)があります。室内用ブラケット固定の際、カメラと別売のアースケーブルを利用してカメラに接続します。安定的な動作のため、アースケーブルのご利用を推奨します。

● **M4ネジ穴**

製品を室内に設置する場合、本体を室内用ブラケットに固定します。

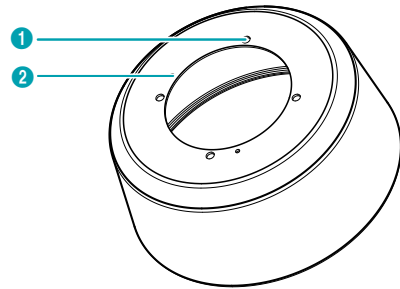
● **M5ネジ穴**

製品を屋外に設置する場合、屋外用ブラケットをサンシールドに固定します。

● **パイプ穴**

製品を屋外に設置する場合、ケーブルが接続されるパイプを屋外用ブラケットに固定します。

屋外用サンシールド



屋外用ブラケットおよびサンシールドは、別売になります。購入をご希望であれば、カメラの販売先でお問い合わせください。

①	M5ネジ穴
②	M3ネジ穴

● **M5ネジ穴**

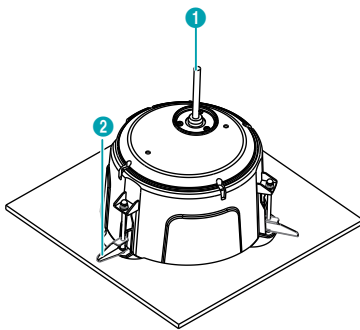
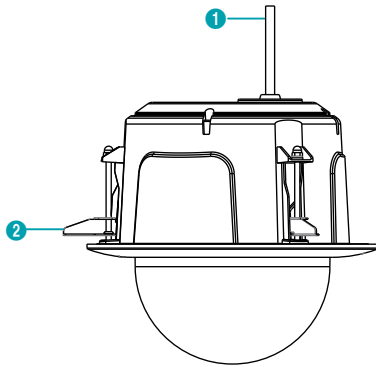
製品を屋外に設置する場合、屋外用ブラケットをサンシールドに固定します。

● **M3ネジ穴**

別売のM3ネジを利用し、サンシールドをカメラの本体に固定します。

埋込型

ハウジング



①	マルチケーブル
②	クランプ

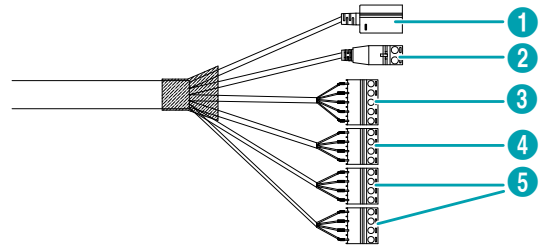
● マルチケーブル

電源、装置及びネットワークコネクタを連結します。

● クランプ

製品を天井に固定します。

ケーブル



①	ネットワークポート
②	電源
③	オーディオ入/出力
④	アラーム出力
⑤	アラーム入力

● ネットワークポート

RJ-45コネクタを持つCat5eケーブルを接続します。PoEスイッチを使う場合、イーサネットケーブルを通してネットワークカメラに電源を供給することができます。PoEスイッチについては、PoEスイッチメーカーの説明書を参照してください。本ネットワークカメラはネットワークを経由してPCと接続して設定、管理およびアップグレードすることができ、遠隔から映像を監視することができます。ネットワーク接続設定については、**IDIS Discovery説明書**を参照して下さい。

● 電源

AC 24V電源を接続します。

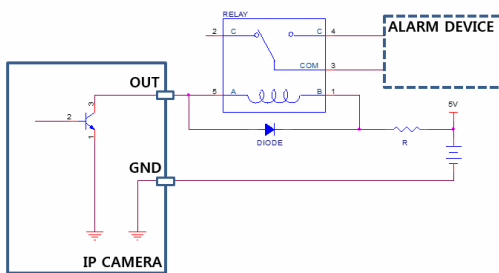
● オーディオ入/出力

- **L_I(入力)**：オーディオソースを接続します(ライン-イン)。
- **L_O(出力)**：アンプに接続します(ライン-アウト)。本カメラはオーディオ出力アンプを持たないため、ユーザーでアンプとスピーカーを準備してください。

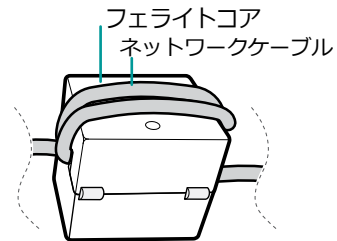
● **アラーム入/出力**

- **ALI(入力)** : アラーム・イン装置を接続します。(動作方法: NC (Normally Closed)、またはNO (Normally Open)タイプ選択可) → 機械的、または電氣的スイッチをアラーム入力とGND(接地)コネクタに接続します。アラーム入力範囲は0~5Vです。電氣的スイッチによるアラーム入力が感知されるためには、NCの場合4.3V以上の電圧が、NOの場合0.3V以下の電圧が少なくとも0.5秒の間、保持される必要があります。
- **ALO(出力)** : BJT(バイポーラトランジスタ)のオープンコレクタ(Open Collector)出力で、電圧及び電流仕様(最大負荷: 30mA、最大電圧: DC 5V)を超えて使用しないでください。仕様を超過するアラーム装置を接続する場合は下図を参考にして下さい。

誘導負荷(リレーなど)を接続する場合、ダイオードを並列に連結しないと製品が壊れることがあります。



- 設置地域内の法規が映像及びオーディオ監視を許諾するかどうかを調査することはユーザーの責任です。
- AC 24V電源からPoE電源に切り替える場合、電源アダプターが取り外されてからカメラが再起動します。
- 電源コードは足に引っかからないように配線し、コードが家具などによって傷つかないようにご注意ください。電源コードをカーペットの下に設置せず、一つのコンセントに多くの装置を差してコンセントやコードの容量を超えないようにご注意ください。
- ネットワークコネクタは屋外用の電線やケーブルに直接接続できるように設計されていません。
- 電磁波の抑制のため、カメラ側のネットワークケーブルの先端を同梱されるコアに2回巻いてご使用ください。



ファクトリーリセット

ファクトリーリセットスイッチは、カメラを工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使用します。

✓ ファクトリーリセットスイッチは製品の内部にあります。詳しい内容は製品の購入先にお問い合わせください。

⚠ ファクトリーリセットを行う場合、ユーザーが設定したカメラのすべての設定値が失われます。

- 1 本カメラから電源アダプターを外します。ドームカバーを外した後、ファクトリーリセットスイッチを押します。
- 2 スイッチを押した状態で、電源アダプターを再び接続します。
- 3 電源アダプターに接続した後、約5秒後に押していたスイッチから手を放します。
- 4 本カメラが初期化されファクトリーリセットを完了すると、カメラは再起動します。これでカメラのすべての設定は工場出荷時の初期設定状態になります。
- 5 ドームカバーを取り付けます。

本カメラがONの状態、ファクトリーリセットスイッチを短く押してから放すことでファクトリーリセットを行ったり、遠隔から**IDIS Discovery**プログラムを実行してファクトリーリセットを行うこともできます。ファクトリーリセットが完了すると、カメラが再起動します。遠隔ファクトリーリセットに関する詳しい内容は、**IDIS Discovery** **説明書**を参照して下さい。

⚠ ドームカバーを外した後、再度取り付ける場合、防水シーリングが所定の元の位置に装着されていないとIP67等級が保障されません。

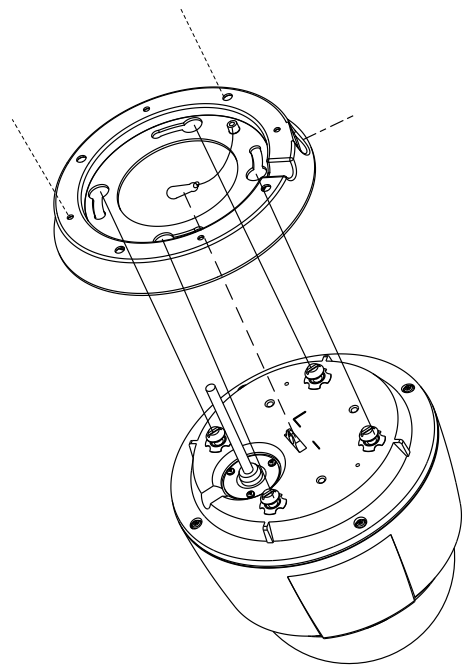
設置

全体のシステムを構成する他の装置については、各装置の**説明書**を参照してください。

✓ 製品の色やデザインはモデルによって異なることがあります。

- ⚠
- 壁または天井の補強工事が必要かどうか確認してください。壁または天井がカメラを支えられる強度がないと、カメラが落下することがあります。
 - カメラに直射日光があたる場所に設置すると悪影響が出る恐れがありますので涼しいところに設置してください。

室内用

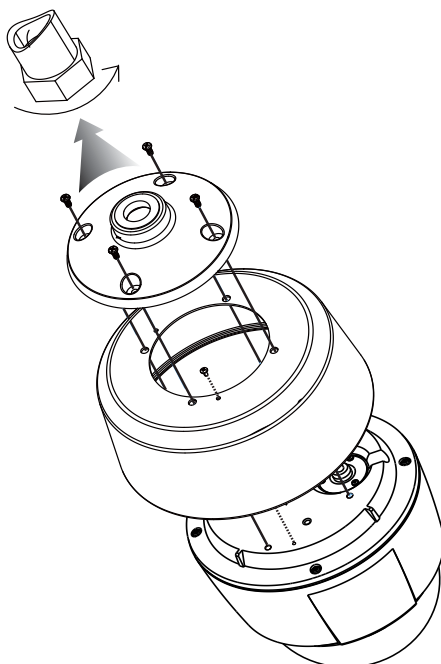


- 1 同梱の壁/天井設置ネジを利用して、室内用ブラケットを壁または天井に固定します。
- 2 壁、または、天井にケーブルの穴を作ります。
- 3 ブラケットの安全ストラップをカメラ本体の安全ストラップホルダーに繋ぎます。
- 4 外部装置及びネットワークを接続します。
- 5 カメラ本体を室内用ブラケットに接続します。この時、本体の設置ネジとブラケットの設置ネジ穴を合わせて接続した後、本体をカメラ側から見て時計回りに25°回転させます。
- 6 同梱のM4ネジをブラケットのM4ネジ穴に接続し、本体をブラケットに固定します。
- 7 電源を接続します。

■ 屋外用


ユニバーサルナットが装着されているパイプの場合

次のようにサンシールドと屋外用ブラケットを先に結合した後、パイプに接続します。



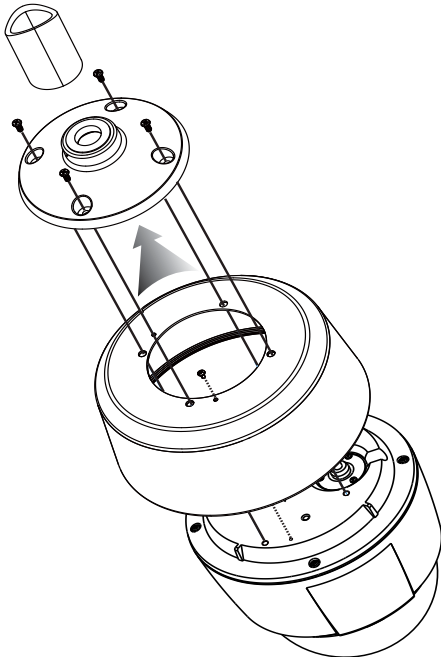
- 1 カメラ本体にある設置ネジを取り除きます。
- 2 同梱のM3ネジを利用して、サンシールドをカメラ本体に固定します。
- 3 屋外用ブラケットの安全ストラップをカメラ本体の安全ストラップホルダーに接続します。
- 4 同梱のM5ネジを利用して、屋外用ブラケットをサンシールドに固定します。
- 5 カメラのケーブルを接続します。
- 6 ユニバーサルナットを回転させて、カメラをパイプに接続します。
- 7 外部装置及びネットワークを接続します。

8 電源を接続します。

 カメラをパイプに接続する際は、ユニバーサルナットを回転してください。カメラ側を回転させるとケーブルが内部で絡まる恐れがあります。

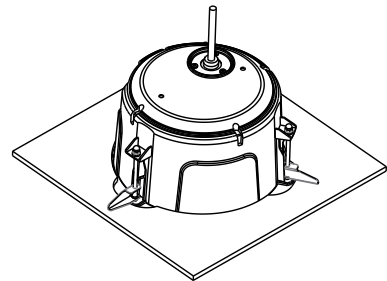
ユニバーサルナットが装着されていないパイプの場合

次のように室外用ブラケットをパイプに接続した後、サンシールドを室外用ブラケットに接続します。



- 1 カメラ本体にある設置ネジを取り除きます。
- 2 同梱のM3ネジを利用して、サンシールドをカメラ本体に固定します。
- 3 室外用ブラケットを回転させて、パイプに接続します。
- 4 サンシールドの安全ストラップをカメラ本体の安全ストラップホルダーに接続します。
- 5 カメラのケーブルを接続します。
- 6 同梱のM5ネジを利用して、サンシールドを屋外用ブラケットに固定します。
- 7 外部装置及びネットワークを接続します。
- 8 電源を接続します。

埋込型



カメラはハウジングの中に装着されています。

- 1 設置ガイドパターンを参考にして天井タイルにカメラを埋め込むための穴を開けます。

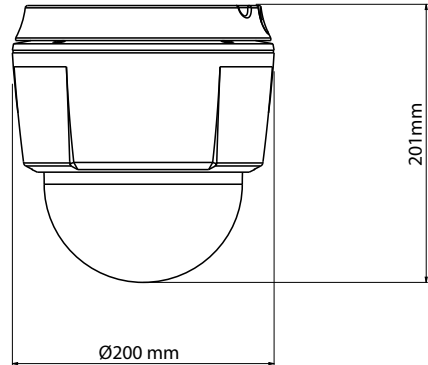
天井材の厚さが30mm以下の場合にのみ設置できます。

- 2 外部装置及びネットワークを接続します。
- 3 ハウジングを穴に嵌めた後、クランプのネジを時計回りに回すと、クランプが天井材に掛かってハウジングが天井に固定されます。
- 4 ハウジングのドームカバーをハウジングに取り付けた後、時計回りに回してドームカバーをハウジングに固定します。
- 5 電源を接続します。

寸法

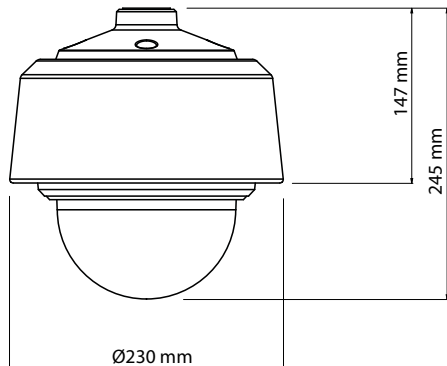
室内用

DC-S6281HXモデル



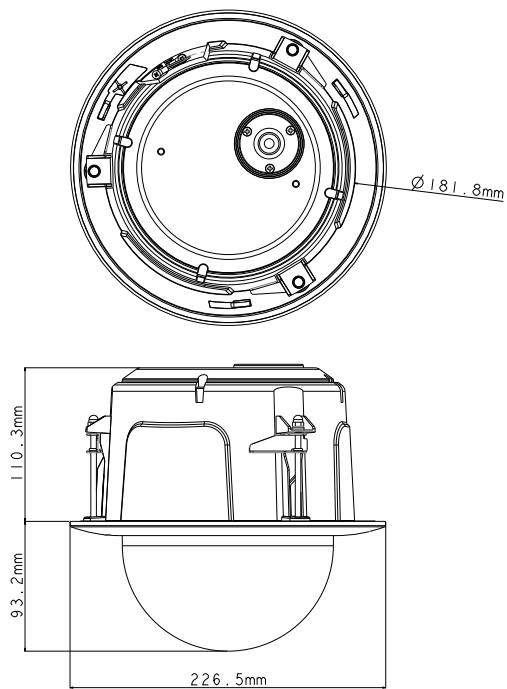
屋外用

DC-S6281HXモデル



埋込型

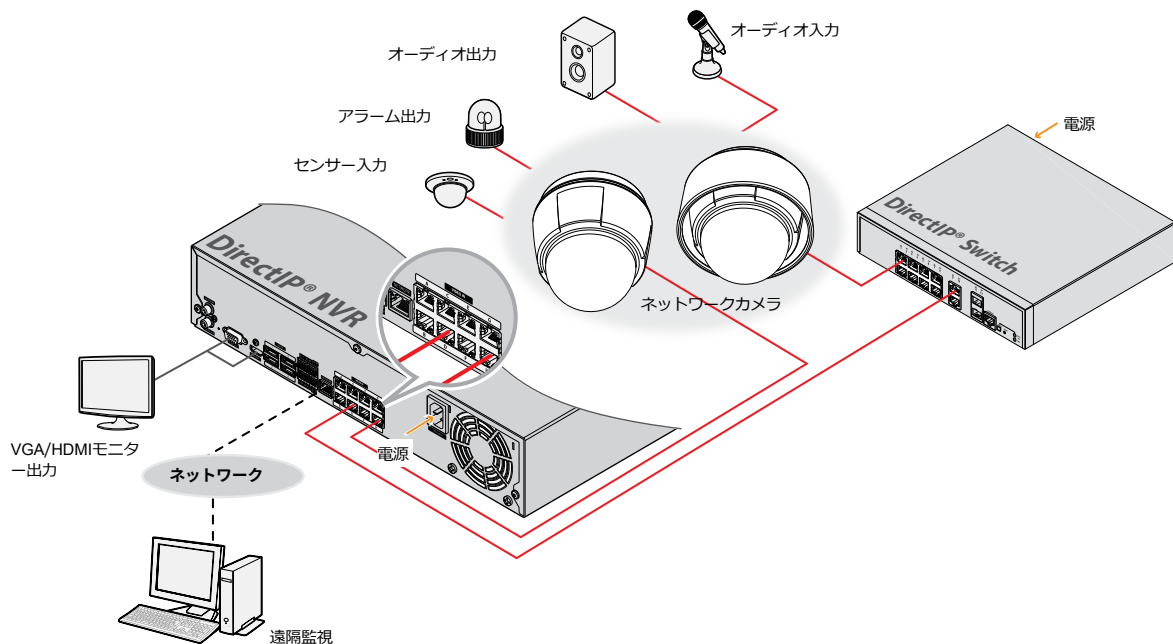
DC-S6281FXモデル



第2章 – カメラ接続

DirectIP® NVR(またはDirectIP®未対応NVR)やVMS(例、IDIS Solution Suite Compact)にカメラを接続します。

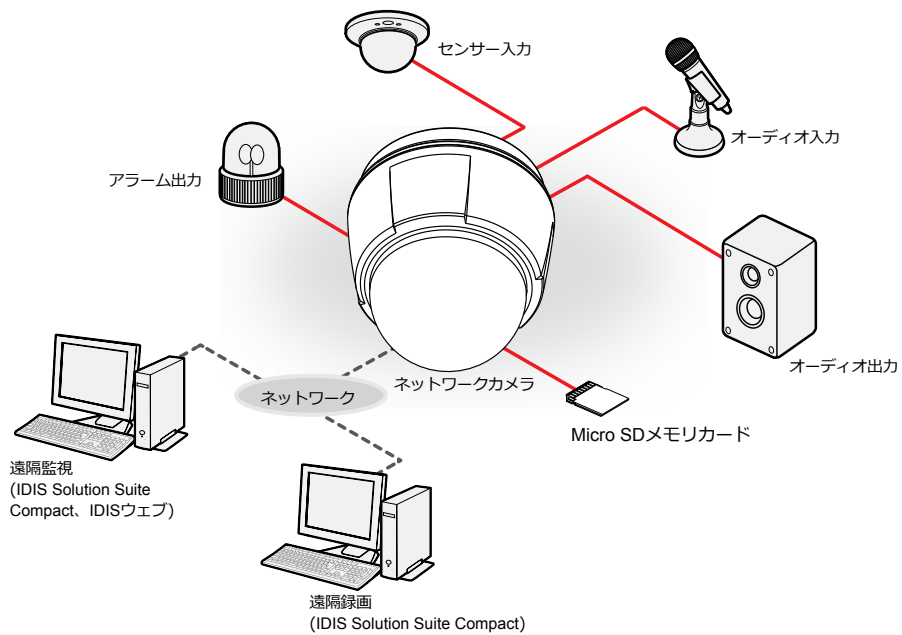
DirectIP® NVRご利用の際



DirectIP® NVRを使用すると、別途のネットワーク設定をしなくてもカメラを簡単に使用することができます。別途のPCがなくてもDirectIP® NVRですべてのカメラを制御することができます。カメラ設定の詳細はDirectIP® NVRのオペレーションマニュアルのカメラ設定のページをお読みください。

DirectIP® NVRに接続してカメラを使用する場合、カメラのオペレーションマニュアルをお読みいただく必要はありません。

一般遠隔監視/録画



PCにインストールしたソフトウェアによってネットワークに接続されたカメラを制御します。
遠隔地でネットワークで接続されたカメラを使用するのに適しています。

カメラのオペレーションマニュアルはネットワークカメラがDirectIP®モードに対応しないNVRに接続されていたり、IDIS Solution Suite CompactのようなVMSに接続されている場合にお読みください。

第3章 – 付録

故障と思われる際の確認事項(Q&A)

症状	確認事項
本体が起動しません。	<ul style="list-style-type: none">電源コードの接続状態を確認します。コンセントの電源を確認します。
PoEスイッチが認識されません。	カメラに接続された入/出力デバイスとPoEスイッチのアースの状態を確認します。アースされていない場合、アースをとって使用してください。
監視映像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none">カメラの電源を確認します。PCおよびカメラのネットワーク接続状態を確認します。
映像がぼやけて見えます。	<ul style="list-style-type: none">レンズに埃が付いていないか確認してから、きれいな布やブラシで拭き取ります。ピントが正しく合っているか確認します。画面に明るい光がたくさん入りすぎる場合、カメラの向きを適切に調節します。
映像の色が違って見えます。	カメラの設定時、ホワイトバランス設定を確認します。 自動 に設定した場合、ホワイトバランスを調節するのに若干の時間がかかります。
映像が点滅します。	カメラが太陽や蛍光灯に向かい合うように設置されている場合、カメラの方向を調節します。
Admin IDとパスワードを忘れてしまい、ネットワークカメラに接続できません。	ファクトリーリセットを実行する必要があります。ファクトリーリセットを実行すると、ネットワーク設定を含むすべての設定値が工場出荷時の初期値に戻ります。万が一のため、ファクトリーリセットを実行した後、IDおよびパスワードを別途に記録して下さい。
IDISウェブプログラムが実行されません。	IDISウェブプログラムのログイン画面が実行されない場合、マイクロソフトインターネットエクスプローラのバージョンを確認して下さい。バージョンが10より古い場合はIDISウェブプログラムが正常に実行されないことがあります。

製品の仕様




本製品の仕様は、製品の改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

ビデオ

イメージセンサー	1/2.8" CMOS
最大解像度	1920 x 1080
走査方式	順次走査
レンズの種類	AFズームレンズ
焦点距離	f=5.2mm ~ 156mm
絞り	F1.33 ~ F4.95
レンズ絞りコントロール	DC自動絞り
画角	Wide : 58.85°(H), 34.42°(V), 66.29°(D) Tele : 2.68°(H), 1.5°(V), 3.09°(D)
最低照度	カラー: 0.1 lux @ F1.33 白黒: 0.01 lux @ F1.33
ダイナミックレンジ	120dB、True WDR
電子シャッター	手動 / 自動 (1/30 ~ 1/10,000)、アンチフリッカー、Slow Shutter(1/7.5、1/15)
デナイト機能	IRカットフィルター(自動スイッチ)
パン/チルト	パン: 360°(連続)、180°/sec (プリセット 420°/s) チルト: 100°(-10° ~ 90°)、180°/s (プリセット 420°/s)

ネットワーク

圧縮アルゴリズム	H.265、H.264、M-JPEG
ビットレート制御	VBR、CBR
最大送信レート (1秒当りのイメージ)	30ips @ 1920x1080 (WDR)
音声圧縮アルゴリズム	ADPCM 16K, G.726, G.711 u-Law, G.711 a-Law
対応解像度	1920x1080, 1280x720, 640x360, 352x240
ストリーミング数	4
イーサネット	RJ45(10/100 Based Ethernet)
外付けストレージ * (オプション)	 (マイクロSD/SDHC/SDXCメモリーカード(Class 6以上、最大512 GB))

* 安定的な録画のために、マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたはTranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)またはMLC (Multi Level Cell)タイプの製品を使用することをお勧めします。

* SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷し、録画できなかつたりデータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

* microSD のロゴは、SD-3C, LLCの登録商標です。

入/出力

オーディオ入力および出力	ライン-イン1系統 / ライン-アウト1系統
アラーム入力	4 TTL、NC/NO Programmable、4.3V(NC) または 0.3V(NO) threshold、DC 5V
アラーム出力	2 TTL open collector、最大負荷: 30mA、最大電圧: DC 5V

一般

動作温度	DC-S6281HX	-40°C ~ +55°C
	DC-S6281FX	-10°C ~ +50°C
起動可能な温度	DC-S6281HX	-20°C ~ +55°C ※0°C以下で起動させた場合、ヒータが温まるまでウエイトした後、カメラが起動します。
	DC-S6281FX	0°C ~ +50°C
動作湿度	0% ~ 90% ※結露なきこと(防水・防塵モデル以外)。	
電源	AC 24V、PoE(IEEE 802.3at, Class 4)	
消費電力	DC-S6281HX	AC 24V, 1.0A, 17.6W, 50/60Hz PoE, IEEE 802.3at(Class4), 17.2W
	DC-S6281FX	AC 24V, 0.8A, 13.8W, 50/60Hz PoE, IEEE 802.3at(Class4), 13.6W
認証	FCC、CE、IP67**、ヒーター**、IK10**、UL	
外形サイズ (Ø x H)	DC-S6281HX	200mm x 201mm
	DC-S6281FX	226.5mm x 203.5mm
本体重量(約) (本体のみ)	DC-S6281HX	2.54kg
	DC-S6281FX	1.82kg

** DC-S6281HXモデルのみ対応

